



創設10周年記念シンポジウム

大規模自然災害 TEC-FORCEは 何をすべきか。

平成20年4月に国土交通省に緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）が創設され、本年で10周年を迎えました。
TEC-FORCEは、これまで東日本大震災や熊本地震、九州北部豪雨など88の災害に、のべ7万人を超える隊員を派遣し、被災地の早期復旧にあたってきました。
我が国では、首都直下地震や南海トラフ地震等の発生や、異常気象による水害の頻発化・激甚化が懸念されます。
本シンポジウムでは、TEC-FORCEの10年間の活動実績を報告するとともに、今後期待される役割や機能について、皆さまとともに考えます。

平成30年

8/27^月

シンポジウム次第

Program

総合司会 大町 麻里

13:30	開 場
	1部 基調講演、TEC-FORCE10年の活動報告
14:00	挨拶 石井 啓一 国土交通大臣 来賓挨拶 基調講演 高橋 清孝 内閣危機管理監 活動報告 塚原 浩一 水管理・国土保全局長 「TEC-FORCE 10年の活動報告」
14:45	休 憩
	2部 パネルディスカッション
14:55	テーマ 「首都直下地震等大規模自然災害において果たすべき TEC-FORCE の役割と課題」 コーディネーター 松田 曜子 長岡技術科学大学工学部准教授 パネリスト 村井 嘉浩 宮城県知事 戸羽 太 岩手県陸前高田市長 澁谷 博昭 福岡県東峰村長 九鬼 東一 陸上自衛隊 中央業務支援隊長兼ねてヶ谷駐屯地司令 石原 康弘 関東地方整備局長 (敬称略)
16:30	閉 会

時間 14:00 ~ 16:30 (13:30開場)

会場 星陵会館ホール

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2
<http://www.seiryokai.org>

入場
FREE
無料

1部

基調講演



内閣危機管理監
高橋 清孝 (たかはし きよたか)

昭和32年(1957年)千葉県生まれ。東京大学法学部卒後、警察庁採用。沖縄県及び北海道の警察本部長等を経て、警視庁警備部長、内閣官房危機管理審議官、警視庁副総監、警察庁警備局長、警視総監を歴任し、平成28年より現職。

活動報告



水管理・国土保全局長
塚原 浩一 (つかはら ひろかず)

昭和36年(1961年)東京生まれ。昭和60年(1985年)東京大学大学院修了、建設省(現国土交通省)入省。水管理・国土保全局防災課長、同河川計画課長、中部地方整備局長を経て平成30年7月より現職。

2部

パネルディスカッション：コーディネーター



長岡技術科学大学工学部 准教授
松田 曜子 (まつだ ようこ)

平成19年(2007年)京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。同年、被災者支援を行うNPO法人レスキューストックヤードに入職。関西学院大学准教授を経て平成28年(2016年)より現職。平成23年(2011年)の東日本大震災発生後には足湯ボランティアのコーディネーターを行った。市民参加型の防災まちづくり、広域避難者支援、災害復興等に関する研究に従事。震災がたが全国ネットワーク共同代表も務める。

パネルディスカッション：パネリスト



宮城県知事
村井 嘉浩 (むらい よしひろ)

昭和35年(1960年)生まれ、大阪府出身。防衛大学校卒業後、陸上自衛隊に任官。幹部候補生学校を経て、東北方面航空隊に配属。平成4年(1992年)自衛隊を退職し、松下政経塾に入塾。平成7年(1995年)から宮城県議会議員を3期務め、平成17年(2005年)宮城県知事選に当選し、現在就任4期目。東日本大震災復興構想会議委員。



岩手県陸前高田市市長
戸羽 太 (とば ふとし)

昭和40年(1965年)生まれ、神奈川県足柄上郡松田町出身。会社員を経て平成7年(1995年)から陸前高田市議を務め、助役、副市長を経て、平成23年(2011年)2月市長に就任。就任直後に東日本大震災により壊滅的な被害を受け、復興に向けた新しいまちづくりを進めている。「世界に誇れる美しいまちの創造」を一番のコンセプトに陸前高田独自の「ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり」を目指している。高田松原津波復興祈念公園有識者懇談会委員。



福岡県東峰村長
澁谷 博昭 (しぶや ひろあき)

昭和25年(1950年)生まれ、福岡県小石原村(現：東峰村)出身。建築会社等を経て、水資源開発公団筑後川開発局(現：独立行政法人水資源機構)に入局。建築士として公団の建築設計業務に従事し、本社建築課長補佐、関西支社建築課長等を歴任。平成22年(2010年)3月退職直後の同年4月に東峰村議会議員となり、平成25年(2013年)10月より現職(現在就任2期目)。昨年の平成29年(2017年)7月九州北部豪雨の災害対応、復旧・復興の陣頭指揮にあたる。



陸上自衛隊 中央業務支援隊長兼ねて
市ヶ谷駐屯地司令
九鬼 東一 (くき とういち)

昭和38年(1963年)生まれ、東京都出身。防衛大学校卒業後、陸上自衛隊に入隊。第43普通科連隊長勤務当時、平成22年の宮崎県口蹄疫対応及び平成23年の宮崎県高病原性鳥インフルエンザ対応において災害派遣部隊指揮官として指揮した他、第1師団幕僚長勤務の際、平成25年の台風26号に伴う人命救助のための伊豆大島における現地指揮官として、また、第8師団副師団長当時に発生した平成28年熊本地震も含め計7回の災害派遣活動に従事。



関東地方整備局長
石原 康弘 (いしはら やすひろ)

昭和37年(1962年)生まれ、鹿児島県出身。昭和62年(1987年)、建設省入省。国土交通省関東地方整備局相武国道工事事務所長、道路局総務課企画専門官、道路局国道・防災課国道事業調整官、大臣官房技術調査課建設技術調整官、道路局企画課道路事業分析評価室長、和歌山県土整備部技監、同県土整備部長、近畿地方整備局道路部長、大臣官房技術調査課長を経て、平成30年7月より現職。